

学校も見かけが八割

授業の様子を見て回る時に、あることに気付きました。

北中の校舎の中には、いろいろなところに揃（そろ）っているものがあるということ。あまりにも当たり前すぎてしまっていたのですが、よくよく見てみると、本当に多くのものが揃っています。

私が最初に気にとめたのが、2階手洗い場にあるスポンジたわしです。（一番下の写真です）ホルダーの中に、四色のスポンジたわしと同じ向きでかわいらしく並んでいました。後片付けとはこういうことなのですね。あるべき位置に美しく並べることが、次使うときの自分を、そして、それを目にする他の人を気もちよくさせるのです。

スポンジたわしをきっかけに、揃っているものはないかと見てみると、あります！あります！雑巾ホルダーにしわを伸ばして色別に掛けられた雑巾。今は小休止ですが、片側に集められた制服ハンガー。大きさをそろえて並べられた学習ボックスの中のファイル類。……まだまだ北中にはたくさんあります。（皆さんもみつけてみてね。）

こういう揃っているものから、それにかかわる人たちの前向きさを私はみつけることができると思っています。「人は見かけが八割」という言葉を聞いたことがあります。「その人のよさは付き合ってみないと」とよく言いますが、やはり第一印象は人間関係にとって大きなウエイトを占めるものです。

それと同じで、学校も見かけが八割だと思います。その八割の中から、生徒や職員の前向きな心を感じ取ることができれば、周りに大きな感動を与えるのです。

服を買いに行ったときに、前の人が手に取った服が無造作に置かれている店で、あなたには買う気が生まれますか。そういう服があったらすぐにたたみ直し、美しくディスプレイする店員がいる店で買いたいですよね。それと同じです。

（八月二十七日 記）

